

## 地域包括支援センターによる 地域ケア会議等の取り組み状況

### 1 令和元年度の状況

センター名	実施回数	主な内容等
ふれあいの里	4 4	<p>令和元年度は、地区担当制を決め活動した結果、各地区毎に個別課題解決機能を持つ地域ケア会議の開催件数が増え、延べ28回開催となった。その中には、制度につながるまでに時間を要し、地域の方や専門職と情報共有しながら複数回開催し、ネットワーク構築機能につながるケースも多かった。また、地区ごとの地域づくり・資源開発機能を持つ地域ケア会議は、それぞれの地区のペースで行った。</p> <p>【啓成地区】啓成地域福祉部会に参加し情報提供を行いネットワーク構築に努めた。</p> <p>【車尾地区】「わがまち支え愛連絡会」の企画からかかわらせていただき、地域づくり・ネットワーク構築のための会議とした。</p> <p>【福生東西】地域福祉活動計画の実施を支援、ネットワーク構築・地域づくりの検討をした。</p> <p>【福米東西】ふくよね在宅ケア連携の会を開催した。福米地域にある医療介護にかかわる専門職全員に声掛けをし、運営委員として三師会の先生方も含めた各代表者（12名）に参加いただいた準備会を経て、医療介護連携、ネットワーク構築機能を持つ地域ケア会議を開催した。</p> <p>*コロナ禍で、年度末に予定していた会議を全て中止とした。</p>
義方・湊山	1 6	<p>義方地区において、地域ケア個別会議を行い、多職種連携会議（医師、リハ職等）を実施した。また重層的な支援が必要な世帯（高齢者、障害、生活保護受給者、生活困窮者など）への支援について、行政、自治会などで検討した。</p> <p>他地区では自治会、社協、民生委員、在宅福祉委員、地元住民等と地域のネットワーク構築に向けて情報共有の顔合わせを行った。</p>

住吉・加茂	8	<p>【住吉地区、加茂地区】同法人施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催し、地域で取り組む災害時の高齢者支援、独居高齢者への見守り支援に加え、子ども食堂などの取り組み等の地域活動について協議した。</p> <p>加茂地区においては、地区の地域福祉活動計画検討会に参加し、地域におけるネットワーク構築について協議した。</p> <p>地域において、地域住民による支えが必要な高齢者について、自治会長、民生委員、近隣住民を交えて、地域ケア個別会議を実施し、課題の解決策を検討した。</p> <p>【河崎地区】地区自治連が主催し、地区内の社福法人が支援して開催された地域ケア会議に参加し、高齢者に対する見守り活動や近隣住民とトラブルを抱える方に対する、地域包括支援センターとの連携について協議した。</p>
尚 徳	10	<p>4地区（永江・尚徳・五千石・成実）にて「優しい地域づくり」を開催。昨年から引き続きの会を今回は「自分達は何ができるか？できることから始めよう！」ということで、協議をする。そこから交通手段・買い物など、どこの地区も共通の課題に対しても協議をした。また、その課題に先駆的に取り組んでいる団体から講師を招き、地域住民との意見交換や実際の取組方法を学んだ。</p> <p>「医療・介護連携カフェ」を開催する。この会はインフォーマルなサービスではなく医療・介護・薬局等の専門職とのネットワークの構築をすすめ、その中で地域住民との連携や専門職として地域へ出向き連携していけるようにすすめる。</p>
弓 浜	18	<p>【和田地区】センターの支援で立ち上がったケア会議。今年度も2ヶ月に一度の頻度で開催。今年度から在宅福祉委員の参加があり、支え合いマップ作成に取り組み、見守り事業の対象者や参加者の住民について情報共有、訪問時の対応について「傾聴」の勉強会を開催するなど、活発な活動となっている。</p> <p>【大篠津地区】R1年5月にアンケートを実施し、その中間報告をケア会議内で報告。</p> <p>【崎津地区】自治会、地区社協、民生委員、在宅福祉委員、青少年健全育成会議、更生保護女性会、介護サービス事業所らとケア会議を実施し、見守り活動、地域の活性化について協議した。その他個別事例のケア会議も随時開催した。</p> <p>【富益地区】富益地区第1回目の地域ケア会議をR2年6月ごろの開催に向けて、地域役員と包括にてR2年2月に準備会を開催。</p>

箕蚊屋	18	担当する4地区とも地域、市、市社協からの参加で準備会を2~3回開催し、テーマ、運営方法などについて協議し、地域ケア推進会議を開催した。 県地区：「県地区の福祉のまちづくりに向けて」 春日地区：「自主防災体制の整備と地域づくり」 巖地区：「住民主体の支え愛マップづくりから地域づくりへ」 大高地区：「大高地区自主防災体制の構築に向けて」
淀江	7	毎年圏域3地区で推進型ケア会議を開催していたが、今年度は圏域全体での地域ケア会議を3月に予定変更としていた。しかしコロナ感染拡大予防に伴い今年度は計画を中止することとなり開催できなかった。地域ケア個別会議を警察・民生児童委員・地域住民の協力を得て開催、数回会議を重ねることで認知症独居高齢者を最期まで地域で支えることができた事例もあった。

## 2 令和2年度の計画

センター名	予定回数	主な内容等
ふれあいの里	20	令和元年度に引き続き、個別課題解決機能地域ケア会議を積極的に開催していくことにより、地域のケアマネ支援も含めた、ネットワーク構築機能・地域づくり機能へとつなげる。コロナ禍で延期としているふくよね在宅ケア連携の会をはじめ、地区ごとに今ある形を維持・発展させ、ネットワーク構築機能から地域づくり・資源開発機能へつなげていく。その中で、自立支援型ケア会議の開催も目指していきたい。また、今年度啓成地区で、地域住民と地区内にある介護保険の事業所と協働した、地域活動の検討を進めている。
義方・湊山	4	特に義方地区において、事例を通じた地域ケア個別会議を行い、地域の課題を各関係者と検討、解決に向けた取り組みを行い、地域課題を把握、地域と繋げていく。
住吉・加茂	6	住吉地区・加茂地区は、引き続き同一法人の施設と「地域で一緒に暮らそう会」を共催する。加茂地区においては、地域福祉活動計画の実行に伴う推進委員会へ引き続き参加し、活動支援を行う。河崎地区では、地域主体の地域ケア会議に引き続き関わっていく。

尚 徳	10	<p>引き続き4地区合同の「優しい地域づくり」を開催する。そこでは前年度に出た課題について実際に取り組んだ地域の活動を住民全体で共有し、活動実現に向ける。</p> <p>「医療・介護連携カフェ」を開催し、昨年度の議題にあった実際に地域に出向き、活動に繋げる。</p> <p>地域福祉活動（在宅福祉員）との連携を強化、併せて顔の見える関係を構築するよう努力する。</p>
弓 浜	25	<p>和田、大篠津、崎津においては今年度も継続的開催し、内容の充実を図っていく。大篠津地区では、昨年実施したアンケートの結果をもとに、支え合いの仕組みづくりについて検討予定。今年度は、富益地区で第1回目の地域ケア会議を予定している。夜見地区では、個別事例の事例検討会からの課題について検討する会を開催予定。今後も地域へ向けて地域ケア会議を通じた地域づくりの必要性を伝えていくと共に個別事例を通じて地域課題を把握し、解決に向けて取り組む。</p>
箕蚊屋	8	<p>現在新型コロナ感染拡大している中、感染予防のため、規模を縮小して行う。担当する4地区毎に、公民館、民生委員、自治会長等とこれまでの地域ケア推進型会議を振り返り、今後の進め方について協議する。協議した結果をもとに、感染予防に配慮しながら開催する。</p>
淀 江	3	<p>次年度から地区社協も3分割される。今年度はこれまで3地区で開催してきた課題を整理し、少規模でも地域の関係者と集い地域づくりについて話し合う機会をもつ。また、地域住民主体で開催される会についても可能な範囲で参加していく。</p>